

そらちしんきんレポート上半期情報

SORACHI SHINKIN BANK 2020

空知信用金庫の令和2年度上半期の経営情報についてお知らせいたします。なお、半期毎の情報開示につきましては、直近の経営実態をお取引先の皆様にいち早くお伝えすることで、当金庫の経営内容をご理解いただくために、開示させていただくものです。記載しております計数につきましては、監査法人の監査を受けておりませんことをご了解ください。これからも変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度上半期トピックス

令和2年度入庫式

令和2年度は、12名の新入職員が空知信用金庫へ入庫いたしました。

「献血活動」への参加

各地区にて、地域住民の皆様とともに、献血活動に積極的に参加しております。

「FMはまなす」での当金庫CM放送開始

令和2年8月より当金庫職員がCMに出演し、当金庫をPRしています。



「軽トラ移動畑で収穫体験！」への協力

令和2年8月6日(木)、農業の楽しさを知ってもらい、農業を身近に感じてもらう活動をまちおこし活動と共に行っている南幌町の若手農家の団体「農猿(のうえん)」さんが、札幌市内にある琴似あやめ保育園にて、「軽トラ移動畑で収穫体験！」を開催し、当金庫も協力をいたしました。

南幌のとうもろこしとキャベツを畑から土ごと掘り起し、土のまま軽トラに乗せた移動畑で、保育園児に収穫体験をしてもらいました。収穫した野菜はその場で炭火焼にし、普段は野菜を食べない子も、一つ残らず食べていました。

当金庫からは園児の家庭に南幌町の野菜をお土産として提供し、南幌の野菜を知っていただくきっかけ作りを行いました。



金融出前講座「はたらく女性のための資産運用ガイド」開催

令和2年9月9日(水)、岩見沢警察署において女性職員向けに、金融出前講座「はたらく女性のための資産運用ガイド」を開催しました。



地域応援イベントの開催

南空知地域を広くPRすることを目的とし、令和2年9月19日(土)から22日(火・祝)の4日間、北広島市にある「三井アウトレットパーク 札幌北広島」にて開催された「北海道の絆プロジェクト」の第三弾として「南空知フェア」を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて開催した当イベントにて南空知の特産品や工芸品等を数多く販売し、たくさんの方々に南空知を楽しんでいただきました。



くるみん認定の取得

令和2年9月15日(火)、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる「子育てサポート企業」として、道内信用金庫で初めて“くるみん認定”を取得いたしました。



「WEB完結ローン」の取扱い開始

令和2年8月3日(月)より、当金庫のホームページを介したインターネット経由で、仮審査申込みから契約手続き完了までを、お客様が来店することなくWEB上の手続きだけで契約が完結するローンの取扱いを開始いたしました。
※当金庫に普通預金口座を保有している等の一部条件がございます。詳しくはホームページをご覧ください。



WEB完結ローン
仮審査申込みは
こちら



空知信用金庫公式 LINEアカウントの開設

令和2年7月14日(火)より、当金庫の公式LINEアカウントを開設しております。当アカウントでは、当金庫の商品情報や当金庫主催イベント情報の発信のみならず、地域の情報等も発信しております。地域情報のインフラとして是非ご利用下さい。



LINEの友だち追加から
ID検索またはQRをスキャンして登録してね♪

© LINE

LINEで
友だちになろう!

@544peurm

うれしい情報をLINEでお届け!



預金・貸出金残高の状況

●預金残高

預金残高は、主に法人向けが増加し、令和2年3月末と比較して179億4百万円増加の3,171億99百万円となりました。



●貸出金残高

貸出金残高は、法人向けが増加し、令和2年3月末と比較して126億26百万円増加の1,453億54百万円となりました。



●貸出金業種別残高

貸出金業種別残高では、様々な業種のお客様に幅広くご利用いただいております。

種 類	令和2年3月	令和2年9月
製 造 業	2,448	3,053
農 業、林 業	796	877
漁 業	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	252	256
建 設 業	11,209	16,303
電気・ガス・熱供給・水道業	117	197
情 報 通 信 業	479	556
運 輸 業、郵 便 業	2,614	3,826
卸 売 業、小 売 業	8,206	10,862
金 融 業、保 険 業	2,657	2,680
不 動 産 業	31,114	32,504
物 品 賃 貸 業	1,541	1,661
学術研究、専門・技術サービス業	450	533
宿 泊 業	334	586
飲 食 業	1,197	1,820
生活関連サービス業、娯楽業	427	458
教 育・学 習 支 援 業	95	121
医 療・福 祉	5,141	5,948
そ の 他 の サ ー ビ ス	4,085	5,315
地 方 公 共 団 体	25,389	23,923
個 人	34,164	33,864
合 計	132,727	145,354

令和2年度仮決算の状況

当金庫では、半期決算(仮決算)の情報開示につきまして、直近の経営実態をお取引先の皆様にお伝えし、経営内容をご理解いただくため、貸借対照表と損益計算書を掲載しております。

●貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	令和元年9月	令和2年9月	前年同月増減額
現 金	4,386	4,648	261
預 け 金	64,429	83,788	19,358
買 入 金 銭 債 権	240	800	559
金 銭 の 信 託	0	0	0
有 価 証 券	116,257	118,201	1,944
貸 出 金	131,339	145,354	14,014
そ の 他 資 産	1,903	1,930	27
固 定 資 産	3,572	3,457	△ 114
前 払 年 金 費 用	87	83	△ 3
債 務 保 証 見 返	750	867	117
貸 倒 引 当 金	△ 693	△ 622	70
資 産 の 部 合 計	322,274	358,510	36,236
預 金 積 金	297,201	317,199	19,998
借 用 金	-	17,500	17,500
そ の 他 負 債	647	631	△ 16
引 当 金	368	372	4
繰 延 税 金 負 債	667	175	△ 491
債 務 保 証	750	867	117
負 債 の 部 合 計	299,635	336,746	37,111
会 員 勘 定 合 計	20,218	20,631	412
評 価・換 算 差 額 等 合 計	2,420	1,132	△ 1,287
純 資 産 の 部 合 計	22,638	21,763	△ 875
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	322,274	358,510	36,236

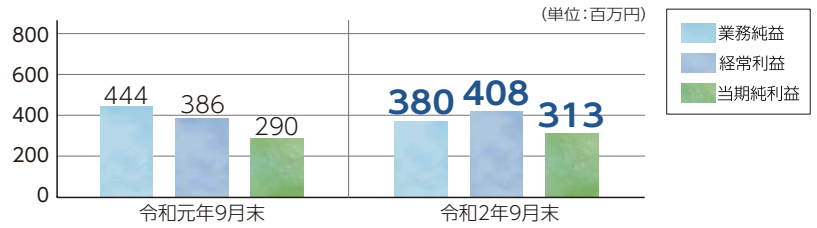
●損益計算書

(単位:百万円)

科 目	令和元年9月	令和2年9月	前年同月増減額
経 常 収 益	1,940	1,890	△ 50
資 金 運 用 収 益	1,615	1,575	△ 40
役 務 取 引 等 収 益	213	205	△ 8
そ の 他 業 務 収 益	64	30	△ 34
そ の 他 経 常 収 益	46	79	32
経 常 費 用	1,554	1,482	△ 71
資 金 調 達 費 用	17	15	△ 1
役 務 取 引 等 費 用	132	130	△ 1
そ の 他 業 務 費 用	17	65	48
経 費	1,291	1,229	△ 61
そ の 他 経 常 費 用	96	41	△ 55
経 常 利 益	386	408	21
(コ ア 業 務 純 益)	400	419	19
特 別 損 失	0	1	1
税 引 前 当 期 純 利 益	386	406	20
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	118	111	△ 7
法 人 税 等 調 整 額	△ 22	△ 18	4
当 期 純 利 益	290	313	22

損益の状況

令和2年度上半期の損益状況は、令和元年9月末と比較して、貸出金利の増加や経費の削減により、当期純利益は22百万円増加の3億13百万円となりました。



業務純益

(単位:千円)

	令和元年9月	令和2年9月
業務純益	444,161	380,437
実質業務純益	444,161	380,437
コア業務純益	400,166	419,846
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	351,331	399,186

(注) 1. 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)

業務費用には、例えば人件費のうち役員賞与等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。

2. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額

実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

3. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、

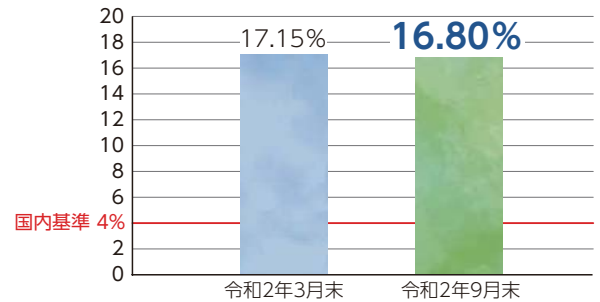
国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

単体自己資本比率(国内基準)

令和2年9月末

16.80%

自己資本比率は金融機関の健全性、安全性をはかる重要な指標であり、比率が高いほど健全な財務体質であるといわれております。当金庫の自己資本比率16.80%は信用金庫に義務づけられている**国内基準の4%を大きく上回っております**。今後とも、皆様に安心してお取引いただけるよう、自己資本の充実に努めてまいります。



自己資本比率規制

●新自己資本比率規制(バーゼルⅢ)による開示について

バーゼルⅢとは、主要国の金融監督当局で構成するバーゼル銀行監督委員会が2010年9月に公表した、国際的に業務を展開する銀行の健全性を維持するための新たな自己資本比率規制のことです。国内基準行についてもバーゼルⅢを踏まえ、平成26年3月期より、自己資本の質の向上等が見直しが図られた新たな自己資本比率規制が適用されました。

この新自己資本比率規制の第3の柱(市場規律)に基づいて、当金庫の自己資本の構成等自己資本の充実の状況について情報開示いたします。

●自己資本の構成に関する事項

◆単体自己資本比率表

項目	令和2年3月期	令和2年9月期
コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	20,318	20,631
うち、出資金及び資本剰余金の額	800	796
うち、利益剰余金の額	19,553	19,834
うち、外部流出予定額(△)	31	-
うち、上記以外に該当するものの額	△2	△0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	221	210
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	221	210
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	20,539	20,841
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	46	39
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	46	39
前払年金費用の額	61	60
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	107	100

(単位:百万円)

項目	令和2年3月期	令和2年9月期
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	20,432	20,741
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計額	112,797	117,133
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△2,327	△2,027
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△2,327	△2,027
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	6,274	6,274
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	119,071	123,407
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)/(ニ))	17.15%	16.80%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

有価証券の時価情報

有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に安全な運用に努めております。令和2年9月末は、金融緩和により市場金利が低下したことや、株式市場が上昇したことから有価証券の評価益は増加しました。

●その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	種 類	令和2年3月			令和2年9月		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	89	50	39	176	128	48
	債 券	83,184	81,604	1,579	87,268	85,803	1,465
	国 債	10,682	10,367	315	10,778	10,494	283
	地 方 債	45,608	44,781	826	45,084	44,335	749
	社 債	26,190	25,756	434	29,079	28,673	406
	その他(債券)	702	699	3	2,326	2,299	26
	そ の 他	4,079	3,806	273	9,084	8,632	452
小 計	87,353	85,461	1,892	96,529	94,563	1,966	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	17	18	△ 0	96	103	△ 6
	債 券	16,801	17,026	△ 224	16,804	17,010	△ 206
	国 債	1,637	1,647	△ 10	3,551	3,588	△ 37
	地 方 債	1,668	1,689	△ 20	1,187	1,206	△ 18
	社 債	11,731	11,876	△ 145	9,607	9,704	△ 97
	その他(債券)	1,764	1,812	△ 48	2,458	2,511	△ 53
	そ の 他	6,267	6,796	△ 528	4,704	4,891	△ 187
小 計	23,086	23,840	△ 753	21,604	22,005	△ 400	
合 計	110,440	109,301	1,139	118,134	116,568	1,565	

(注) 1.貸借対照表計上額は期末日における市場価格等に基づいております。
2.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主な内容および貸借対照表計上額

(単位:百万円)

内 容	貸借対照表計上額	
	令和2年3月	令和2年9月
子会社株式および関連法人等株式	10	10
子 会 社 株 式	10	10
そ の 他 有 価 証 券	57	57
非 上 場 株 式	48	48
組 合 出 資 金	9	9

不良債権の状況

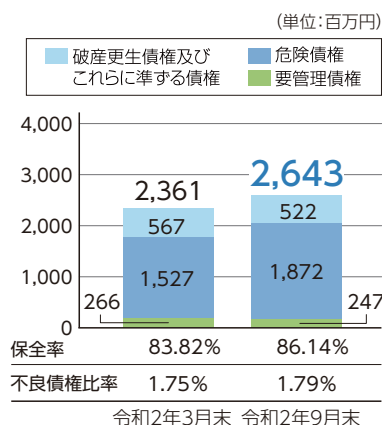
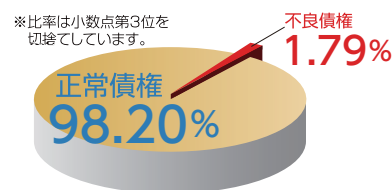
不良債権額は令和2年3月末と比較して281百万円増加しましたが、保全率は86.14%と高く、保全面では万全となっております。当金庫は資産の健全性の確保を最優先に考え、不良債権の処理については適切な償却・引当を行っております。

(単位:百万円)

区 分		開示残高 (A)	保全額 (B)	担保・保証等による回収見込額	貸倒引当金	保全率 (B)/(A)
	令和2年9月	522	522	387	135	100.00%
危 険 債 権	令和2年3月	1,527	1,311	941	370	85.87%
	令和2年9月	1,872	1,665	1,328	337	88.93%
要 管 理 債 権	令和2年3月	266	100	82	17	37.63%
	令和2年9月	247	88	72	16	35.78%
小 計	令和2年3月	2,361	1,979	1,447	531	83.82%
	令和2年9月	2,643	2,276	1,787	489	86.14%
正 常 債 権	令和2年3月	131,919				
	令和2年9月	144,473				
合 計	令和2年3月	134,281				
	令和2年9月	147,116				
不 良 債 権 比 率	令和2年3月		1.75%			
	令和2年9月		1.79%			

●保全率は、不良債権のうち担保・保証付と貸倒引当金等によりカバーされている比率です。

(注) 上記計数は「金融再生法ベースの債権区分による開示」であります。



会員様向けアンケート結果について

当金庫では、地域密着金融機関を目指し、お客様の満足度向上とともに、経営改善に役立てることを目的として、会員様にご協力をいただきアンケートを実施しております。

皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望は、今後の当金庫の経営に活かし、皆様にご満足いただける地域金融機関を目指してまいりますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。なお、今年度も会員様向けアンケートの調査結果と、アンケートで寄せられたご意見等の一部を掲載させていただきました。

また、アンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で50名の方にクオカード(1,000円分)のプレゼントをさせていただきました。

●会員様向けアンケート調査結果(有効回答数957通)

毎期、会員の皆様にお送りしている事業報告書にアンケート回答用紙を同封させていただきました。

表1 窓口対応について

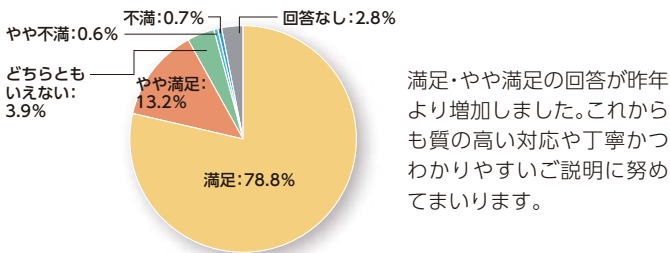


表2 渉外係の対応について

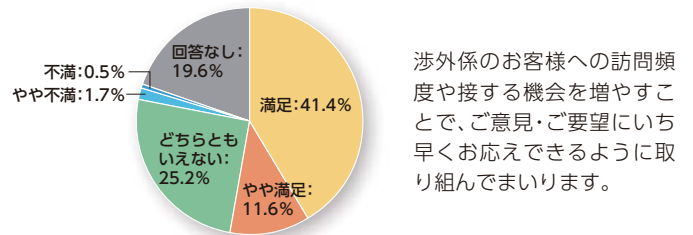


表3 ローン商品について

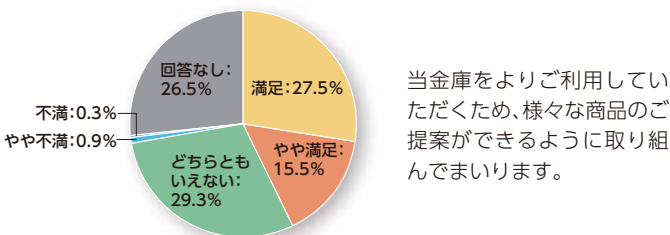


表4 資産運用商品について

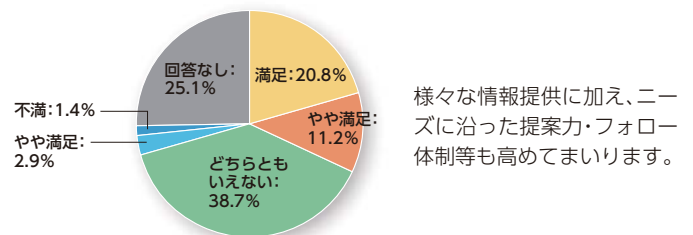


表5 情報提供について

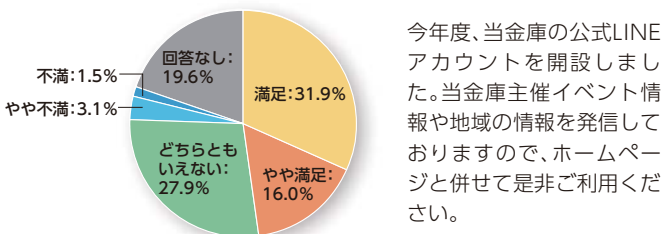


表6 相談受付について

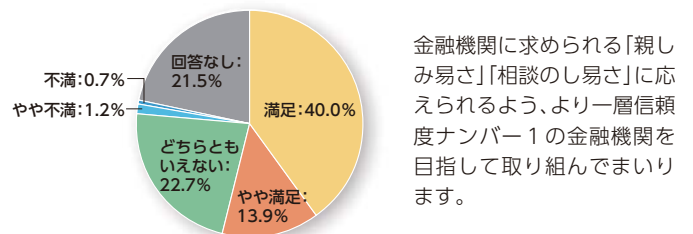
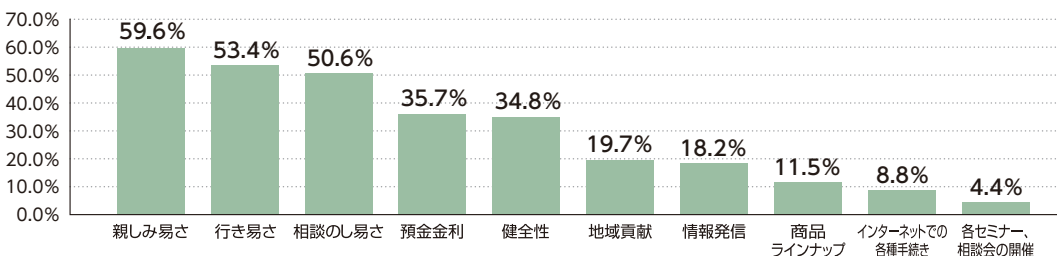


表7 金融機関に求めるもの(複数回答)



健全性や地域貢献を求めるお客様も多いなか、それ以上に親しみ易さや相談のし易さ、行き易さが求められており、他行との差別化を図るためにも、お客様が必要とする情報発信と、より一層地域密着型営業・フェイストウフェイスに努めてまいります。

●会員様向けアンケートで寄せられたご意見等の一部をご紹介します。

1. ATMの数を増やしてほしい。

⇒ご迷惑をおかけして申し訳ございません。貴重なご意見として参考にさせていただきます。なお、令和2年3月23日より、当金庫は北洋銀行様とATM相互無料提携をはじめしておりますので、是非ご利用ください。

2. 資産運用の話を知りたい。

⇒ご意見ありがとうございます。当金庫では、お客様の資産運用等のご相談を個別に承るマネーアドバイザーが営業店の職員とともに訪問させていただいております。何かお困りの事がございましたら、お取引店へお気軽にお問い合わせください。

店舗のご案内

■ 店舗一覧およびATM設置状況 (令和2年10月末現在)

店名	所在地	電話番号	ATMコーナーのご利用時間		
			平日	土曜	日曜・祝日
本店	岩見沢市3条西6丁目2番地1	☎(0126)22-1150	8:45~19:00	9:00~17:00	9:00~17:00
幌向支店	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	☎(0126)26-2021	9:00~18:00	9:00~17:00	休業
栗沢支店	岩見沢市栗沢町本町55番地1	☎(0126)45-2324			
鉄北支店	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	☎(0126)24-6233			
日の出支店	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	☎(0126)25-4555			
美園支店	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	☎(0126)24-6363			
美唄支店	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	☎(0126)62-7511			
三笠支店	三笠市幸町12番地7	☎(01267)2-2383			
栗山支店	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	☎(0123)72-0208			
由仁支店	夕張郡由仁町本町148番地	☎(0123)83-2011			
長沼支店	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	☎(0123)88-2131			
南幌支店	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	☎(011)378-2311			
札幌支店	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	☎(011)271-3421			
江別支店	江別市高砂町8番地3	☎(011)383-1011			
札幌北支店	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	☎(011)757-3435			
琴似支店	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	☎(011)644-4422			
白石支店	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	☎(011)862-7766			
平岸支店	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	☎(011)831-8555			
厚別支店	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	☎(011)895-2111			
札幌西支店	札幌市西区西町北20丁目3番10号	☎(011)666-8111			
札幌東支店	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	☎(011)783-3611			

※店舗併設のATMコーナーでは目の不自由な方もご利用いただけるATMを設置しています。

■ 店外ATMコーナー (令和2年10月末現在)

店名	所在地	平日	土曜・日曜・祝日
イオン岩見沢店※	岩見沢市大和4条8丁目1	9:00~19:00	9:00~17:00
ビッグハウス岩見沢店	岩見沢市大和1条9丁目1	9:00~21:00	9:00~21:00
であえーる(旧ポルタ)	岩見沢市3条西4丁目	9:00~19:00	9:00~18:00
一条出張所※	岩見沢市1条西1丁目	9:00~17:00	休業
岩見沢市役所※	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00~17:30	
北海道中央労災病院※	岩見沢市4条東16丁目	9:00~17:00	
岩見沢市役所北村支所	岩見沢市北村赤川593番地の1	9:00~17:00	
イオンスーパーセンター三笠店※	三笠市岡山1059番地の1	9:00~19:00	9:00~17:00
JR岩見沢駅	岩見沢市有明町南	9:00~21:00	9:00~21:00
本店春日出張所※	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00~17:00	休業
JRタワー札幌ステラプレイス	札幌市中央区北5条西2丁目	8:00~21:00	9:00~18:00

※のATMコーナーでは目の不自由な方もご利用いただけるATMを設置しています。

ーお知らせー

全国のセブン銀行ATM、ゆうちょ銀行ATMでもそらちしんきんのカードがご利用いただけます。また、北洋銀行ATMでは、平日8:45~18:00の間、無料でそらちしんきんのカードがご利用いただけます。

2020年3月23日(月)より

 × 

空知信用金庫と北洋銀行はATM相互無料提携をはじめました。

お取引の種類 **お引出し**

ご利用時間: 平日 8:45~18:00

※対象は個人のキャッシュカードのみとなります。

※お振込みにはATM設置側金融機関所定の振込手数料がかかります。

上半期ディスクロージャー(令和2年11月発行)

 〒068-8660 北海道岩見沢市3条西6丁目2番地1
<http://www.shinkin.co.jp/sorachi/>

※右記QRコードから、当金庫ホームページにアクセスが可能です。

